

## 第59回試験研究成果発表会（花植木）発表概要

【動画配信期間】 令和4年2月21日（月）～3月18日（金）

【場 所】 YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」

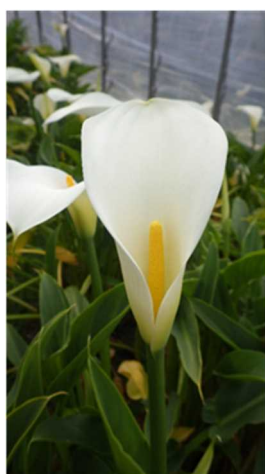
### 発表1 成果発表

湿地性カラー新品種「Brilliant・Bell(ブリリアント・ベル)」の育成

暖地園芸研究所 野菜・花き研究室 種谷 光泰

千葉県農林総合研究センターでは、20年ぶりに湿地性カラーの新品種「千葉C2号」を育成し、令和元年6月に品種登録出願を行いました。愛称を一般募集した結果、「Brilliant・Bell(ブリリアント・ベル)」に決まりました。令和3年秋から切り花の出荷も始まっています。

今回は「Brilliant・Bell(ブリリアント・ベル)」の育成経過や特徴についてご紹介します。



「Brilliant・Bell(ブリリアント・ベル)」



「Brilliant・Bell(ブリリアント・ベル)」の試作風景

## 発表2 成果発表

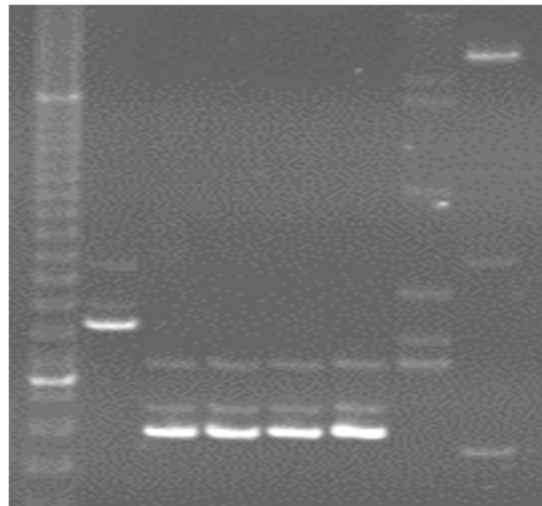
### カラーの DNA 鑑定による品種識別技術の開発

生物工学研究室 海老原 克介

千葉県では、これまでに湿地性カラーの「アクアホワイト」を育成し、今回新たに「Brilliant・Bell(ブリリアント・ベル)」を育成しました。これらの品種は、外観上は従来の品種と正確に区別することは困難です。そこで、種苗生産における混種対策や育成者権の侵害防止のため、千葉県で開発した品種と他品種を DNA マーカーを用いて識別する方法を開発しました。



いろいろなカラーの品種



DNA マーカーを用いたカラーの品種識別結果

## 発表3 情報提供

### 燃やせる土を使った鉢花生産の取組み

～燃やせる土でお花好きの皆さまをサポートします！～

花植木研究室 室田 有里

多くの自治体では『土』をごみとして捨てることができず、特にマンション住まいの世帯では、鉢花、寄せ植え観賞後の鉢土の処分方法が問題となっています。焼却可能な資材を用い、可燃ごみとして捨てられる培養土を開発することで、マンション住まいのお花好きの皆さまの困りごとを解決したいと考えています。

いくつかの品目で試作・試験販売が開始されたので、現状と今後の展開についてお話しします。



燃やせる土を用いて栽培した  
シクラメン



600℃ 4 時間燃焼させた場合の灰  
(左：慣行土、右：燃やせる土)

#### 発表4 情報提供

##### エラチオール・ベゴニアの秋期出荷作型に適した遮光・遮熱資材の探索

花植木研究室 金子 洋平

エラチオール・ベゴニアは、日長管理をすることで周年出荷が可能ですが、秋期出荷作型については、近年の異常高温により徒長や開花が揃わないといった品質低下が問題です。この対策のうち、植物体の光合成への影響が少なく、温室の昇温抑制を目的とした遮光資材を探索しており、モデル的な試験の途中経過を報告します。



遮光資材下の「ネッチャダーク」の開花の様子



赤外線ランプを用いた昇温抑制効果試験の様子

#### 発表5 情報提供

##### 輸出用イヌマキの根洗い技術について

花植木研究室 高橋 玄

根洗いに伴う樹体の品質低下を低減する技術を開発しています。根洗い後の枯死・落葉を抑制するために、根部保湿資材や被覆資材及び葉の間引きの効果を検証しましたので、その結果について報告します。



イヌマキの根洗いの様子